

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、方向感に欠ける値動きが続いたが、引けにかけては商品価格の上昇や良好な米経済指標を受けてドル買いレアル売りが優勢となり、4.00台半ばで取引を終えた。世界的な景気減速懸念や欧州の一部銀行を巡る信用不安の拡大に加え、米金融引き締め見通しに陰りが生じたことを背景に、先週はグローバルに株安が進行。投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、レアルを含む中南米通貨も週を通じて軟調な展開となった。イエレンFRB議長は10-11日に行った議会証言において、「米国の金融環境は最近、経済成長への寄与度が低下してきている」と指摘した他、「そうした状況が根強く続いた場合、経済活動や労働市場の見通しを圧迫する可能性がある」との見解を示した。こうした材料を要因にドル売りが加速。特に対円では急速にボラティリティが高まり、一時110円台と約1年3ヶ月ぶりのドル安円高水準を記録した。一方、12日に公表された米1月小売売上高は前月比0.2%増と3ヶ月連続で前月比プラスを維持し、市場参加者のセンチメント改善に寄与した。

ニューヨーク連銀のダドリー総裁は、イエレン議長が議会証言で示した評価について同意する一方、米経済は非常に良好であり、中長期的にはインフレ率は2%の目標に達するとのお見込みであると発言した。

マーケットデータ

Indicator		Unit	2月11日	2月12日	前日比	1月12日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,9925	4,0030	+0,0105	4,0277	-0,0247
	対円	JPY	28,15	28,28	+0,13	29,20	-0,92
	対ユーロ	BRL	4,5219	4,5052	-0,0167	4,3703	+0,1349
円	対ドル	JPY	112,42	113,25	+0,8300	117,65	-4,4000
	対ユーロ	JPY	127,29	127,46	+0,17	127,74	-0,28
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	39.318	39.808	+490	39.514	+294
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	500,5	494,8	-5,7	485,6	+9,2
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	16,33	16,29	-0,04	16,16	+0,13
DI Future Apr17 (金利先物)		%	14,66	14,60	-0,06	15,77	-1,17
3 Months US Dollar Libor		%	0,617	0,618	+0,001	0,624	-0,006
CRB Index (国際商品指数)		Index	155,0	160,4	+5,4	162,1	-1,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

